

令和5年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第5回 議事録

●日時

令和5年10月7日(土) 19:00～20:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●欠席者(敬称略)

【常任理事】 伝統文化委員長(長井)、伝統文化副委員長(丹羽)

【理事】 坂下大本町組理事(中村)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

① 「秋の城下町まつり」(10月21・22日) 技術者研修会の説明

10/21(土)車山曳廻し

10/22(日)からくり町巡り

② その他

●配布資料

① 令和五年度祭屋台等製作修理技術者会研修会犬山大会の案内

② 10/21(土)車山曳廻し 神社曳込位置

③ 10/21(土)車山曳廻し 各町内運行図

④ 曳き綱体験会実施について

⑤ からくり町巡りチラシ

⑥ 南館企画展について（看板）

⑦ 第九回はんだ山車まつりについて

●議事内容

I.

① 会長挨拶

・会長：10月21日・22日の秋の城下町まつりに合わせて、全国山・鉾・屋台保存連合会の技術者研修会を犬山で開催することになったので、皆様のご支援を得て、犬山の城下町を見ていただける仕掛けをしていきたいと思う。

全国山・鉾・屋台技術者研修会について説明させていただく。全国山・鉾・屋台保存というものはいわゆる曳山系の、構築物である山とか鉾、屋台というのが一般的な名称なので、そのように読んでいる。ユネスコの無形文化遺産に登録されている、国の重要無形文化財の指定を受けた山鉾屋台系の団体である。指定を受けるには、文化庁が審査をする。技術者研修会も文化庁が主催をする。

文化庁は、21世紀になって、文化財を保存するだけだった。絵画や仏像を文化財を修理をすると、一度修理をすればそれでよいが、祭は何度もやるものなので、祭の保存費がかさむ。そこで、文化庁の政策が大きく転換して、保存するだけでなく活用してほしい、ということになった。保存された文化財を使って、なにか文化的な活動や、地域経済の活性化に使うって欲しい、という方向に変わってきた。そこで文化財を保存するだけでなく活用するという、その典型が祭である、ということになった。文化庁ではここ最近、祭というものについて、一つの日本の国策モデルにしたい、という流れが出てきた。我々にとってもうれしいことである。犬山の市役所は文化庁に職員を送っており、犬山との太いパイプがある。また文化財の最高峰でもある国宝の犬山城、茶室如庵があるまちにユネスコの無形文化遺産の祭があるということになる。今回、文化庁から、犬山で技術者会の事務局をやってほしいという希望があり、それを受けた形である。

山・鉾・屋台保存連合会の本部は秩父が事務局であった。まもなく富山県高岡に事務局は移るが、山鉾屋台の原点は京都なので、技術者会の主催は京都山鉾連合会である。例えば、犬山祭の車山で特にお金のかかる幕類は京都に関わりがある。そう

ということで、技術者研修会を犬山に頼まれたという流れがある、ということを入れていただきたい。

また近年、日本の中で古い物、建築物や食べ物、着物など、日本的なものほど、技術者が少なくなって、コストが年々上がってきている。修理費がどんどん高くなってきている。これも我々にとっても課題である。祭の車山の修理費は高くなることは避けられない。その中で祭をやっていく、ということも時代背景としてある。

我々も修理費は公的に頼りつつ、なるべく自立をしつつ、我々で資金繰りを模索することも課題である。このような流れの中で今年の技術者研修会をむかえることをお願い申し上げたい。

●報告事項

- ・鍛冶屋町理事：9月22日に7名で北小のからくり体験教室に行った。生徒さん方に三番叟や茶運人形などを見ていただき、とても喜んでいただけた。今年度の体験教室は7月の西小学校も含め、好評であった。来年度も引き続き行われると思うので、できればまた伝統文化委員の方で出席していただき、担当して頂けたらと思う。
- ・企画広報副委員長：犬山祭のTシャツができあがり、皆さんにお配りできる状態となっている。本日ここに持ってきているので、ご注文された方はお持ち帰りいただきたい。お金の支払いについて、私の家か事務局にもってきていただきたい。秋のお祭の時までに持ってきていただけるとありがたい。よろしく願います。

II. 議題

① 「秋の城下町まつり」(10月21・22日) 技術者研修会の説明

10/21(土)車山曳廻し

10/22(日)からくり町巡り

- ・専務理事：技術者会研修会について。添付資料は、技術者の方々と行政の方に出した案内である。21日は、車山が出る以上、保存会の方がそちらに集中されるため保存会の方はお手伝いをお願いできないで、ナイスディ犬山のボランティアの方数名に協力していただく予定。関係者の宿泊については観光協会がホテルを調整済み。

大事な事として、8町内が夜車山を出していただけるということで、18時40分頃に観覧予定ということで案内に記載している。多少の時間のずれはあるかもしれないが、皆様を連れてまいります。

当日は、ファーストテラスの角地の駐車場に折り畳み椅子を並べて、そこで見ていただく予定。会場から迅速にバスで公園坂の方までお連れして、そこで見ていただくことを考えている。

技術者会の総参加者は120名、交流会参加者は112名、宿泊者は99名。

この話を受けたのは今年の4月だったが、時期的に行政の支援をなかなか得られない中で、事務局の方で、観光協会を中心に一緒にここまで進めてきた。

- ・てこ委員長：21日（土）の通行規制について。地図の黒い部分が13時から22時までの車両通行止めで規制をかける。点線箇所は13時から14時まで、南熊野町、南鍛冶屋町、名栗、下本町、外町の通りとなる。外町と熊野町が通行することによってこの時間帯は通行止めとなる。余坂は19時から通行止め。

下本町と名栗町、南鍛冶屋、熊野町は、夜に寺内町、熊野町、名栗町、外町、練屋町が通るため、19時から22時まで通行止めとなる。

城前広場の曳き込み位置について。右から夜出発していく順番となる。春は扇型だったが、8町内なので真横に一直線で並ぶ。止める位置は、午前中にてこ委員でマーキングしておく。

曳きこみは車切りで、夜車山の時にどんでんをやれるならやっていただくことも可能。無理にどんでんでなくても、車切りででていただいても良い。

21日当日、本祭と同じようにどんでん館に午前7時に、8町内理事さんと役員さんに皆さんに集まって頂く。そこで協議させていただき、天候が危うい時は、皆さんの協議事項に従って頂く。

各町内の運行表について。15時の集結になっているが、難しいご町内もあるので、昼車山に来ていただく外町、寺内町、熊野町は、企画委員会の催事があるのでそこに協力していただけるということなので、この三町内は15時から15時30分

ぐらいまでに曳きこめるかと思う。その後の、夜車山の提灯を点けて来られる町内は、遅くても16時30分にさせていただきたい。日没後の真っ暗な時間に来られると危ないかと思うので、16時30分を目途でお願いします。

また、夜車山の三町内は、夜車山の準備を16時30分からやりたい。3町内なので各町内の前にトラックを付けてもらえばいい。

8町内理事は、完了報告を21時50分までに、史料館本館まで必ずお願いします。21時50分以前に完了してもいい。

- ・専務理事：高札は置かないのでお願いします。
 - ・鍛冶屋町：夜車山の点灯は何時ごろか。
 - ・てこ委員長：点灯開始17時30分とあるので、それを目途にお願いしたい。
 - ・外町：トラックの搬入はどこからするのか。
 - ・てこ委員長：武道館の方から入っていただきたい。
 - ・会長代行：どこの車山が何時に通るかという横断の時間をある程度決めていただきたい。
 - ・専務理事：運搬用の車両は許可がいらなくなった。運送用の名札を作ってこちらから配布する。
 - ・てこ委員長：通行規制で、提灯のトラックは通れるが、人が多く、人身事故を避けるために武道館の方から入れていただきたい。
 - ・専務理事：参加費はみなさんにお配りしたが、土曜日の朝に中止と決めた場合でも、基本的に配ったお金の返金はしなくてよい。ただ、その決定事項に従わない行動をした町内は返金を求めることもある。
- 22日のからくり町巡りは、暴風雨のような悪天候でないかぎりで行う。室内でやる段取りがついているため。
- ・名栗町：運行について。夜車山の出発が4番めで、その後外町と練屋に来ていただくが、名栗町は下本町で外町と練屋に先にいっていただき、名栗町に入っていた

く。練屋町が入った所についていって、外町は南熊野町でUターンするが、その時は南鍛冶屋町のところで少し待機するという形になるのか。

- ・てこ委員長：名栗町が先に入っていただき、南熊野町の角あたりで休憩していただき、外町も、練屋町が南鍛冶屋に入るまで休憩していただき、それで出ていただければ、名栗町がどんでん館に入る待ち時間が少ないかと思う。
- ・練屋町：運行予定が、名栗に行く予定になっているが、前回では、最初に行った道でまた帰ってくるということだったと思うが、この予定だと、町内の高齢者が負担となるので、直接夜車山は練屋町に帰るようにお願いしたい。
- ・てこ委員長：若いてこから、長く曳きたいということで、そのような運行の希望があった。
- ・練屋町：若いてこの意見とのことで、また町内に持って帰って検討させていただく。ローソクが持つかも心配。17時30分に点灯ということだと20時半までは持たないのでは。
- ・専務理事：カメヤマローソクの業者から説明があり、4時間20分は燃焼時間がもつとのこと。
- ・会長代行：外町は、朝に車山を組んで、提灯をつけて帰ってくるというのは強行軍なので、また臨機応変に町内に戻って頂くという形でも良いと思う。

本祭とは異なるので、各町内と打合せをして、融通を利かせてスムーズな運行をしていただければと思う。
- ・外町：衣装について。昼車山は紋付、夜は金襦袢で行かせていただきたいという話が出た。笛も、半纏を着てやるという形の予定。
- ・中本町：夜は金襦袢を付ける予定。子供が2、3人ほどしかいないので年配者がお囃子をするかもしれない。
- ・会長代行：安全確保については町内の方の警護をつけていただき、ガードマンも少なくなっているので、しっかりお願いしたい。駅前通りの縦断の際も、交通量も多くあるので、各町内と相談して事故のないようにやっていただきたい。

- ・専務理事：警察に提出書類を作るが、運行計画の変更について、早急に確認していただきたい。観光課がガードマンを派遣するところや、警察が少人数でも派遣するところが、運行図によって違ってくる。各町内のご意見を聞いたら、それ以外の動きはしないようにしていただきたい。
- ・てこ委員長：中本町が、下本町の方に、夜に行きたいというお話を聞いている。
- ・中本町：時間の関係もあるので、また相談させていただく。
- ・てこ委員長：練屋町について。若い子は、下本町、名栗に来て、南鍛冶屋から練屋に帰る、という経路を希望しているとのこと。
- ・練屋町：また持ち帰って返答させていただく。また、警護要員が4人ほど足りない。
- ・会長代行：また対応する。
- ・魚屋町：今回、広範囲の交通規制をかけるが、ガードマンの費用は市か保存会が出しているのか。
- ・専務理事：両方である。
- ・魚屋町：市の予算はからくり町巡りの範囲しかないと聞いているが、今回の秋祭りのガードマンの費用は市が追加で出していただくということか。
- ・専務理事：技術者会議の関連で、イベントの方にお金を使っていいという許可を得ているので、それを流用して保存会の形でガードマン10人分は負担をする。
- ・会長代行：本会計から秋まつりに対して金額は発生する。これは使わせていただく。予算書を作るので、90万くらいのお金は出ていく。ガードマン代、設営費等色々なものにお金を使うので、その分は保存会から一部出させていただくという形となるのでご承知おきいただきたい。
- ・会計：予算で言うと、70万プラス90万ということになるのか。
- ・会長代行：見積をとっている最中である。

当日は雨が降らないことを祈り無事安全に行いたい。よろしく願いいたします。

- ・企画広報副委員長：中日新聞と尾北ホームニュースにも資料をお渡ししているが、21日の車山が出る時に、引綱体験というものを企画する。今回昼車山で参加していただく町内にご協力いただき、本来各町内の方が曳かれるところを、一般の方に募集して、希望者がいらっしゃったら体験料を支払って頂き、曳いていただくという企画を考えた。内容としては、物販をポケットパークで二日間設置するので、そこで当日21日に受付をしていただく予定。午前中に申し込みをしていただき、昼の13時くらいから車山が出るので、そこに熊野町、外町の車山がどんでん館あたりに引綱をしたい方に集まって頂く。寺内町は魚屋町の車山蔵付近に集まって頂く予定、またそちらについては調整はさせていただく。

参加費は3000円、参加者の年齢や性別の制限は無い。からくりの手拭いを参加者の方に一枚プレゼントする予定。前回の理事会での松田委員長の提案と同じものである。

- ・副会長：先日インディゴホテルで、秋の祭りで参加できるような企画がないかという相談を受けた。そちらに紹介してもよいか。
- ・企画広報副委員長：問題ないと思う。新聞については中日新聞には今週どこかで出る。秋の祭りということで、車山行事、からくり町巡りの記事を書いていただくところにこの企画についても入れ込んでいただく予定。

当日の申込でないと、雨天の場合の払い戻しなどが難しくなるので、当日とした。

- ・応募人数が多かった場合はどうなるのか。
- ・企画広報副委員長：先着で100人までという形にする予定。
- ・会長代行：市役所や観光課、警察も、PRをすると、今回は想定以上の人が来た場合の交通規制ができないので、新聞にあまり出てPRになってしまうと、想定以上に人が来てしまって対応が出来ないという状況になるのでは。
- ・具体的にどう曳かせるのか。

- ・企画広報副委員長：三町内に分かれるので、それぞれで30人ほどになる見積りである。当日の人数にもよるが、10名程度であれば一緒に引いていただければ良いし、100人ほど集まった時は、途中で交代ということも考えている。
 - ・寺内町：人数が多くなった場合、企画委員の方で一町内につき何人くらいついてもらえるのか。曳いている時にお世話する形になるのか。
 - ・企画広報副委員長：一町内二人ずつくらいは最低つく。企画委員も人数が限られているため、車山付近の場合は危険なので、皆さんにお手伝いしていただきたい。
- 本日皆さんからいただいた意見をもとに修正させていただきたいと思う。
- ・協力はさせていただくが、当日、人数的に厳しくなると、対応に困るかもしれない。
 - ・会長代行：曳いてもらうだけなので、それほど人は来ないのではないか。
 - ・自町内の小さい子が来ても3000円なのか。
 - ・企画広報副委員長：そういうことはない。町内の方は想定していない。
 - ・会長代行：3000円という値段のことも含めて、検討していただきたい。3町内で協力させていただく。
 - ・会長代行：からくり町巡りについて、最終確認をお願いします。
 - ・専務理事：交通規制もかからないので、からくり町巡りはどんどんPRをしていただき多くの人に来ていただきたいということになっている。当日の日曜日に駅改札の横で三時間ほどチラシを配ることを観光協会と連携している。どのように回るかというのは、早急に伝統文化委員会を開いて案を作成する予定。スケジュールと場所についてはチラシの通りで変更はない。
 - ・鍛冶屋町理事：どんでん館の方で照明は設置していただけるのか。
 - ・専務理事：例年通り頼んである。詳細は観光課と打ち合わせする。
 - ・本町：雨天の場合はからくりミュージアムの中にやることになるのか。

- ・そのような形となる。
- ・魚屋町：仮設台でやるので、雨天の場合はからくりができなくなる。
- ・雨天の場合は余遊亭に移動していただいてやっていただくようお願いしてある。
日曜日の午前中は余遊亭が開いている。土砂降りの場合は町内で臨機応変でお願いしたい。
- ・魚屋町：からくり町巡りの前に、子供のお囃子をやりたいという意向がある。からくりの時間は順守する。
- ・専務理事：からくりミュージアムの企画展について。是非見に来ていただきたい。
搬入時に松田さんと林さんにお骨折りいただいた。歴史まちづくり課にもお手伝いしていただいた。
- ・半田の山車まつりについて。10月28、29日に半田で総山車揃えを行う。
29日については観覧席に招待を設けているので、バス28人乗りを用意したので、無料という事で参加可能である。現地の飲食代は自己負担。
全委員の方に案内をして募集する。バスの乗員数を超えた場合は、それぞれの自家用車をお願いする。その場合も代金はこちら持ちとなる。個々で行く場合、駐車場が全部有料で、事前申し込み制なので、個人で行かれる場合は相談していただきたい。
駅西ロータリーから8時20分に出発。帰りは現地を15時ごろ出発して犬山着は16時頃。
秋祭り当日、からくり館は土曜日は有料、日曜日は無料。どんでん館は両日無料となる。
- ・中部大学の服部敦先生が、学生が映画を作るということで、車山蔵を撮影されるということで協力する予定。

- ・企画広報副委員長：11月3日に堀部邸で色々なイベントをやる予定。以前服部先生が中部大学の学生さんが、犬山のまちの色々なシチュエーションで短編映画を撮影されたが、今回新たに撮影して、堀部亭で上映するというイベントを行う。明日が撮影日。事前に許可をいただいたところで撮影予定。熊野町など犬山の馴染みのある風景が学生さんがどのように撮られて物語になっているかというのが見どころである。チラシの詳細ができていないが、また紹介させていただく予定。
- ・会長：服部敦さんは枝町の人で、祭の映画を撮りたいということである。ご協力をお願いしたい。
- ・余坂町：前回、例えば個人会費について見直して欲しいというご意見があったが、理事会でなにか提案させていただきたい場合はどのようにすれば良いのか。事前に保存会の事務局に文書に持っていくなどすれば良いのか。
- ・専務理事：理事会の中で「その他」という項目を設けてあるので、こちらで発言していただいても良い。
- ・余坂町：例えば、審議してこうするという結論を出す形ではなく、ただご意見を言われて終わりだったように思うので、せっくなので皆さんのご意見でもってどうするか、ということをごきっちり決めた方が良いのではないかと考えて発言させていただきました。もしそういったお考えの方がいれば、ちゃんとした議案を出して皆さんで提案させていただいたらどうかということである。
- ・枝町：7月に車山を解体して、車山組みを明日に予定している。8時半から始めて、14時か15時ごろまでの予定だが、明日は雨天の予定のため、臨機応変で行う予定。
- ・会長：前回の理事会で長谷川副会長がリーダーとなり、秋田県の角館に企画の若い方が視察にいらしていただいたご報告をしていただいたが、先日、加子母でお祭があった。加子母は歴史的にも犬山と近いため、企画委員の方と行ってきた。村祭りの原点のような祭で大変良かった。山村の祭と都会の犬山の祭を比較するのは無理があるかもしれないが、時間に追われないような祭で、半日ほどのんびりしていたが、それを考えると、犬山は時間に追われすぎるといった感じを持った。他の祭りを見て、その特徴を見て、広く

比較して良いところを学んだり、必要であれば改めることを見つけるのも必要ではないかと思う。

先ほど引綱の体験について企画委員からの説明があったが、てこの若い人たちも積極的に立案してくれているので、理事の皆さんには、なるべく若い人の柔軟で前向きなアイデアを支えていただけるとありがたい。引綱の案についても、皆さんに揉んでいただき、立案者が是正していただけたらと思う。なるべく新しい形で絶えず更新をしていく、若い人、子どもたち中心の新しい祭にしていきたいと思うのでご指導ください。よろしく申し上げます。

- ・会長代行：今後について。秋祭りが終わってから理事会を開催予定なのでご案内する。

●次回日時

未定

●次回場所

からくり館二階

●記録日

令和5年10月14日

●記録者

竹村

●署名

石田芳久

多和田兼道